



Title	「図書館ガイドブック」的な文献のリスト
Author(s)	松本, 秀人
Description	第II部
Relation	観光と図書館の融合 = The fusion of tourism and libraries
Citation	CATS 叢書, 5, 145-149
Issue Date	2010-07-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/43227
Rights	© 2010 松本秀人
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	departmental bulletin paper
File Information	CATS05_011.pdf



「図書館ガイドブック」的な文献のリスト

図書館は、例えば『ぶらりガイド 鎌倉』といったような観光用のガイドブックに掲載されることはほとんどないし、雑誌などの「ゴールデンウィークに親子で行ってみたい見学スポット」といった記事でも対象にされることは少ない。また、各地の博物館や美術館をまとめたムック(ビジュアルを重視した雑誌や書籍)は見かけるが、図書館を網羅したものは、ムックであれなんであれ、あまり目にする機会がない。

しかし、実際には「図書館ガイド」的に各地の図書館を通覧できる文献も、これまでにいくつか刊行されている。あまり知られていないと思われるこの種の文献について、観光と図書館の融合を考察するうえでの関連資料として、以下に簡単なリストをまとめた。

「図書館は成長する有機体である」といわれるように、図書館は日々変化し続けている。従って、以下の文献中に紹介されている図書館の特徴等については、すでに現状と合わない可能性もあるので、この点にご留意いただきたい。

なお、雑誌や新聞でも「変わる図書館」とか「今、図書館が面白い」といった記事がときどきみられるので、それらを丹念にチェックしていくと、特徴ある活動をしている図書館を知ることができる。

【図書館ガイド的な文献】

『最新版!! 図書館マスターガイド』

(ジオカタログ キョーハンプックス 2009)

- ・東京都内の専門図書館、公立図書館を収録。付録として各都道府県の中央図書館、各政令指定都市の中央図書館も収録。合計 542 館を掲載。

『東京ブックナビ』

(東京地図出版編集部編 東京地図出版 2009)

- ・首都圏の書店や図書館のガイドブック。個々についての解説量はあまり多くないが、網羅性に優れている。

『TOKYO 図書館日和』

(富澤良子 アспект 2007)

- ・東京、神奈川の公共図書館や博物館・美術館に併設されている図書室などで、個性ある蔵書を持っていたり、建物やなどを楽しめるようなものを、ビジュアル重点を置いて紹介。

『個人文庫事典 I 北海道・東北・関東編 / II 中部・西日本編』

(日外アソシエーツ編 2005)

- ・公共図書館、大学図書館、専門図書館等が所蔵する「個人文庫」(人物ゆかりの図書コレクション)を紹介。「個人文庫」に関する旧蔵者情報、沿革、概要、特色などを説明しつつ、図書館の所在地や最新情報、地図なども掲載しているので、図書館ガイドとしても使える。

『おもしろ図書館であそぶー専門図書館 142 館完全ガイドブック』

(毎日ムック・アミューズ編 毎日新聞社 2003)

- ・専門図書館をジャンル別にビジュアル満載で紹介しているほか、博物館や美術館に併設された図書館も紹介。井上ひさしや高野文子などのエッセーも含む。

『図書館をしゃぶりつくせ (別冊宝島 EX)』

(宝島社 1993)

- ・全国津々浦々の個性派図書館 330 館、プロのニーズに応える専門図書館 40 館を収録。都道府県毎の図書館の全体的な傾向についての分析もある。

『TOKYO 図書館ワンダーランドー首都圏オモシロ図書館 100 館走破』

(内藤毅 日本マンパワー出版 1992)

- ・首都圏の特色あるワクワク専門図書館、オモシロ公共図書館 100 館を紹介。

『新版改訂 全国図書館案内 (上下)』

(書誌研究懇話会編 三一書房 1990)

- ・全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館について、特色のある所蔵資料に重点を置いてまとめたもの。付録として「地方史主要文献一覧(1945-1989)」を収録。

【図書館訪問記など】

『図書館のある都市への旅』

（堀田穰 鹿砦社 2000）

- ・日本、ニューヨーク、アイルランド、韓国など各地を巡りながら、時に思索的になったり詩的になったりしつつ訪問記をまとめたもの。

『日本図書館紀行』

（海野弘 マガジンハウス 1995）

- ・『ダカーポ』に連載された図書館を巡る紀行文をまとめたもの。紀行文であるが取材がきめ細かいので、各図書館の特徴がよくわかる。

『図書館活用百科』

（紀田順一郎 新潮社 1981）

- ・書名は「百科」となっているが、特色ある図書館の紹介がメインの本。最後に文字通り「図書館活用百科」の章がある。

【本屋・ブックカフェのガイド】

図書館の紹介ではないが、書店をテーマにしたものも興味深く読めるので、代表的なものを数点紹介する。

『本屋さんに行きたい』

（矢部智子 アスペクト 2009）

- ・セレクトショップ感覚の新刊書店、おしゃれな新世代古書店、ブックカフェなど、ユニークな本屋23軒を紹介。

『ブックカフェものがたり』

（矢部智子, 今井京助ほか 幻戯書房 2005）

- ・本が読める喫茶店、本を売っている喫茶店のガイドブック。ブックカフェを維持していくための「ブックカフェ開業講座」という章もある。

『京都読書空間』

（光村推古書院 2005）

- ・街のブックカフェや書店が中心だが、図書館も一部掲載されている。本にまつわるコラムや名物書店員の紹介なども含む。

『東京ブックストア&ブックカフェ案内（散歩の達人ブックス）』

（交通新聞社 2003）

- ・本屋、ブックカフェのガイド。図書館の収録はないが、“私設図書館”的なカフェが多数収録されている。

【海外の図書館に関するもの】

『世界の図書館百科』

（藤野幸雄編著 日外アソシエーツ 2006）

- ・アメリカ議会図書館、北京国家図書館など世界各国の主要な図書館について、その概要や変遷などを解説。「図書館百科」というタイトルであるが、図書館だけではなく、図書館に関連する人物や図書館用語なども含め、約 3,100 項目を収録している。

『ヨーロッパの歴史的図書館』

（ヴィンフリート・レーシュブルク 国文社 1994）

- ・ヨーロッパに存在する、歴史的な姿をそのまま残している図書館について、外部や内部の写真、コレクションの紹介などをまとめたもの。長めの序文では、ヨーロッパの図書館の発達についてまとめられている。

【写真集】

図書館をテーマとした写真集の中で、特によく知られているものを2点ほどリストアップした。

『 Libraries 』

（ Candida Hofer Thames & Hudson 2005 ）

『 The Most Beautiful Libraries of the World 』

（ Guillaume de Laubier, Jacques Bosser Thames & Hudson 2003 ）

【「ガイド」としての作品集】

建築の分野において、「図書館」は独自の観点で検討すべき要素も多いことから、図書館だけに対象を絞った作品集や図面集も多く刊行されている。これらは、一般的な意味での「図書館ガイド」ではないが、紹介されている図書館は、建築的に優れていたり、地域のランドマーク的な役割をはたしている場合があるので、発想を転換してみるとガイドとして利用することも可能である。

建築分野の文献のため、写真や図面、工法の説明などが記述のメインであるが、「どういう考え方で設計されたか」「どのような工夫がなされているか」などの解説は、とても勉強になる。

これらの文献には、例えば以下などがある。

『日本図書館協会建築賞作品集－ 1985-2006 図書館空間の創造』

（日本図書館協会施設委員会図書館建築図集編集委員会編 日本図書館協会 2007）

『図書館建築 22 選』

（図書館計画施設研究所 東海大学出版会 1995）

『図書館—コミュニケーションとしての図書館（DA 建築図集シリーズ）』

（日本建築家協会編 彰国社 1986）